

空港から

ふくらんだ

世界への夢

オペラ歌手 幸田 浩子(こうだひろこ)さん



Profile

大阪府立豊中高等学校卒業。東京藝術大学を首席卒業。同大学院及びオペラ研修所を経てポーロニヤ、ウィーンに留学。数々の国際コンクールで上位入賞後、欧州の主要歌劇場へ次々とデビューし、2000年には名門歌劇場ウィーン・フォルクスオーパーと専属契約を結ぶ。帰国後は、新国立劇場、二期会等オペラの舞台で主役級を演じる他、主要オーケストラとの共演や全国各地でのリサイタルなどで活躍。また、NHK-FM「気ままにクラシック」では笑福亭笑瓶氏とパーソナリティを務め、2012年からはBSフジにて音楽&トーク番組「レシピアン」(毎週土曜日午後6時30分)に出演するなど多彩な活動を展開。2015年7th CD「スマイラー母を想う」をリリース。今後は2016年1月25日いづみホールにて関西フィル公演に、また5月8日神戸新聞松方ホールにて姉の幸田さと子とのチャリティコンサートに出演予定。第14回五島記念文化賞オペラ新人賞、第38回エクスンモービル音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。2015年度から大阪音楽大学特任准教授として教壇に立つ。二期会会員

私の家族は曾祖父の時代から豊中に住んでいて、子どものころは8人家族のにぎやかな家庭でした。両親に連れられて夕暮れに蛍を見に行ったり、近くの土手で遊んだりしたことは、子ども時代の懐かしい思い出です。

蛍池で生まれ育ったので、当時は国際線も発着していた大阪国際空港はとても身近な場所でした。空港に行くたびに「ここから世界中のどこにでも行けるんだ」と思い、小学生のころには「大きくなったら、私はきっとイタリアに住むだろうな」と何となく思っていました。今でも世界中の空港が好きなのは、きっと空港が身近にあって、たくさんの夢を描ける場所だったからでしょうね。高校時代に進路を考えたときには、音楽家か外交官。世界を意識する広い視野を持っていたのは、空港の影響が大きかったと思います。

平成27年(2015年)8月にびわ湖ホールで上演した「竹取物語」では、日本センチュリー交響楽団との共演でしたので、リハーサルは同楽団の本拠地がある服部緑地。この服部緑地も、高校時代には、体育祭の練習をしたりして、とても思い出深い場所です。実は「服部緑地の野外音楽堂で演奏会をしたい」とずっと言い続けているんです。

生まれたとき、産声がソプラノだったので、「この子はきっと歌手になるね」と叔母と母が話したそうです。その日あったことを歌って話すくらい、小さいときから歌うことが大好き。他の楽器も経験するなかで、姉の大学祭で学生だけでオペラを上演しているのを見て感激し、あの学校に行きたい、そこでオペラをやってみたいと思いました。

オペラと言うと、ほとんどの人は、格式が高く、自分とは遠い世界の芸術と思われるのですが、そこで描かれるのは、人と人が愛し合っていて、ちょっとした誤解があってもやっばり好きだとか、楽しいときには笑い、悲しいときには泣くという当たり前の人間関係や心の機微なんです。総合芸術と言われるオペラの舞台は、音楽家だけでなく、衣装や舞台装置、舞台上に合図を送るプロンプターなど様々な専門職種の卓越した力の結晶です。多くの専門家が力を合わせてひとつの作品を創りあげるところがオペラの大きな魅力なんです。だから、観客もいろんな見方や楽しみ方ができます。衣装を見るのが楽しみでもいいし、ストーリーに入り込んでもいいし、日常から少し離れて素敵な魔法がかけられたような空間を楽しんでいただきたい。豊中のようにオペラハウスのあるまちなんととても珍しいので、もっと気楽に楽しんでいただけたらうれしいですね。

音楽は心の扉を開く力があると思います。聴き終わったときに、愛しい人のことを改めて思い出して、うれしくなったり、切なくなったり。私は、そんな人と人のコミュニケーションや心が共鳴するきっかけづくりをさせていただいていると思っています。ヴァイオリニストの姉と一緒に、毎年、母の日に開催している東日本大震災復興のチャリティコンサートは、同じく震災があった神戸に暮らし、支援を継続することの大切さを知る姉が「10年間は続けよう」と、平成23年から始めました。観客の皆さまが、私たちの音楽で少しでも元気になって、また明日から頑張ろうと思ってくださいますように。そして、皆さまの想いと共に、被災された方々を支援させていただきたいと願っています。

平成27年は、豊中高校卒業25年という節目の年で、同窓会ではたくさんの同級生と旧交を温める機会がありました。また4月からは大阪音楽大学で教えることになり、自分にとっての新しい一歩が豊中から始まっていると実感しています。大阪国際空港に降り立つと「ああ、帰ってきた」と本当にはっきりと。豊中のまちは私にとってかけがえがなく、自分という存在の核をつくってくれたまちだと思います。

目次

とよなか魅力エッセイ	2
「空港からふくらんだ世界への夢」	2
特集	
「道を拓く」	4
■「今を懸命に生きたら、扉が開いていた」	4
■「おいしく、楽しく、華やかに、食の大切さを伝えています」	7
■「必要なものは自分たちでつくる」〜高齢者の居場所づくり〜	8
高校女子スポーツ物語	
「技術に勝るチーム力」	9
まちの魅力探訪	
「音楽大学があるまち・庄内」	10
歴史をひもとく	
「豊中住宅開発物語」	12
とっぴのおきのトヨナカ	
「個性的なお店が集まるマンション」	14
「海外旅行気分国際交流を」	14
とよなかグラフィティ	
「好きな野球ができる感謝の気持ち」	16